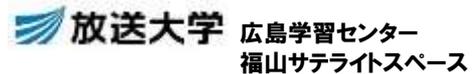


往還ノート

2 学期 2 号 (236 号) 2020 年 1 月



日本の手習い教科書と年賀状—往来物の世界—

放送大学広島学習センター客員准教授 小宮山 道夫

はるのはじめのおんよろこびむかひて き はふに まづいむしまうさふらひおわんぬ ふつ き ぼんふくなをもつてかうじんかうじん そもそとしのはじめのちやうはい
 春始御悦向 貴方 先祝申候 畢、富貴万福猶以幸甚幸甚、抑歳初朝拝
 はもつて さくじつぐわんさん の ついでを へき いそぎます の ところさる かり もよふひとびとねのひのあそびに の あひだ ながら おもひえん
 者以 朔日 元三之次、可 急申 之処被 驅 催人 々子 日遊 之間、乍 思延
 いんす にたり たにのうくひすわれ のきのはなを そのの こ とうのあそびに ひ かに すこぶるそむき ほんいを さふらひおわんぬ はたまたやうきうすずめ
 引、似 下谷 鶯忘 檐花、苑小蝶 遊 中日影 上、頗 背 本意 候 畢、將又 楊弓 雀
 こ ゆみのしやう ぶ かさかか こくし の くわい くまじしまるものあそび さんざんくの て はなみ やつまととう きよくせつ きんじつちつづきけい
 小弓勝負、笠懸小串之会、草鹿円物遊、三々九手 夾、八的等、曲節 近日 打 続 経
 えいすこれを じんじやうの い て はせひきのたつしや しやうやつあつて ご ゆういん おほしめしたちたまは ぼんちうなり しん じいへども
 -宮之、尋 常 射 手 馳 挽 達 者、少 々 有 御 誘 引、思 召 立 給 者 本 望 也、心 事 雖
 おほしためごせんが さんくわい の ついでを くわくす あたは ふ がうに きやつきやうきんげん いつ か さ ゑんものせうふじわら
 多 為 期 参 会 之 次、委 不 能 腐 毫、恐 々 謹 言 正 月 五 日 左 衛 門 尉 藤 原
 きんじやう いはみのかみどの
 謹上 石見守殿 (読点筆者、漢字は原則として常用漢字に改め、二字以上の踊り字
 には該当する文字を配した)



今年も届いた年賀状、発行数は 2003(平成 15)年の 44 億枚をピークに減少を続け、現在はその約半数にまで減っているようだ。上記の文は、室町時代に成立して以来明治初期に至るまで全国の武家や寺子屋で使われた初等の教科書『庭訓往来』の冒頭に出てくる正月の挨拶状。私の面接授業「日本の教育文化」で参考のため配布した史料のひとつだ。講義では 1852(嘉永 5)年刊行の皇都書林版(早稲田大学所蔵)を利用した。ひらがな併記もあるので比較的読みやすいものとはいえ、くずし字で書かれた変体漢文のため、慣れない者には少し難しい。しかし短い時間ながら解説を楽しんでくれたようだ。この欄を借りての正解発表である。

「往来」とは往復書簡を指し、『庭訓往来』のように日常生活に必要な語句をちりばめた書簡の文例を通じ、季節ごとの風習や知識を学ばせるようにした手習いの教科書を「往来物」と呼ぶ。11 世紀中頃に藤原明衡が著した『明衡往来』が往来物の嚆矢である。その正月の挨拶状が最古の年賀状と言う人もいるが、正確には文例として伝承された最古の年賀状だろう。この貴族向けの文例を武士向けにして新しく作られたのが『庭訓往来』だ。新年の挨拶に加え、「楊弓」や「小串」などの当時の遊び、弓の儀式「三々九手挟」、騎射の「八的」など、武士に必要な語句やそれを取り巻く情景が示されている。

江戸時代には庶民向けの『七ツいろは』『名字往来』や、職業別の『商売往来』『農業往来』、地理に特化した『東海道往来』や『江戸往来』など、実用性を高めた往来物が多数刊行され、庶民の学力を高めるのに大きな役割を果たした。当然のことながら女性のための往来物も各種ある。『女庭訓往来』は次の一文で始まる。「年の始の御悦、事旧候へども、尽せぬめでたさにて候…」解説を続けたいところだが誌面が詰まった。続きは教室で。

目次

客員教員寄稿	1	視聴学習・図書室からのお知らせ	5
「所長室コーナー」から	2	行事の報告・お知らせ	6
事務室からのお知らせ	3	スケジュール(1月～4月)	8

発表するということ(7)

広島学習センター所長 山田 隆

学術研究成果は、最終的に関連分野専門雑誌に論文として掲載されて初めて公式に認められる。論文が「掲載可」となるまでには、一定の審査を受け条件を満足し、その学術的価値を承認されなければならない。審査の過程では、何回も編集責任者との間でやり取りをすることになる。国内雑誌に投稿し、審査を受ける場合にはさほど時間がかかるわけではないが、国際雑誌の場合は、昔は大変な苦勞を強いられた。ワードプロセッサやPCの普及前には、まず英文タイプ打ちが大仕事であった。何回も原稿を改訂し、修正タイプを打つとその都度新たな間違いが生じたりする。ようやく完成版をairmailで送付すると、欧米をあて先とした場合、受け取りの返事をもらうまでに最低2週間かかる。通常、原本に加えてコピーを2部つけるとかなりの重量となり、国際郵送料も高つく。雑誌の編集部では原稿受け取り後、編集責任者（編集委員）を決め審査員を選定する。次に、編集員と審査員の間での原稿のやり取りが起こる。これにさらに2週間かかるとすると、投稿後、最初の審査結果を受け取るまでに論文の移動だけで約1月かかり、審査期間を含めれば、2か月以上が経過するのが普通であった。審査結果に応じて追加実験をし、論文改訂を行い再投稿する。必要に応じてこのプロセスが繰り返される。その結果、論文掲載までに非常に長い時間を要することになり、これが科学の進展の一つの律速段階となっていた。この問題は、インターネットの普及により一気に解決された。論文投稿がオンライン化され、必要なファイルを準備して雑誌の論文投稿サイトにアップロードするだけで事は済むようになった。著者、編集部、編集委員、審査員はすべて投稿サイトを介してやり取りをする。その結果、大幅な時間の短縮と郵送手続き、コストの削減につながった。時間の短縮は、特に学位論文提出を控えた大学院生（博士課程後期）に大きな恩恵をもたらした。学位論文提出には、多くの場合、一定数の公表論文発表が必要条件となる。学生は、投稿した論文が「掲載可」となる連絡を今か今かと待つことになる。毎日足しげく郵便受けに通う。1か月、2か月、3か月とこれが続くと、精神衛生上極めてよくない。待ちに待った挙句、「掲載不可」の連絡でも受けたら目も当てられない。次善の雑誌を探して再投稿しなければならなくなる。そして、また同じプロセスを繰り返すことになる。学生だけではない。指導教員も学位審査委員会招集のタイミングに頭を悩ませることになる。オンラインシステムならば、逐次審査状況を追跡できるし、場合によっては編集委員にメールを送り、事情を説明して審査を早めてもらうこともできる。しかし、何よりも大切なことは、投稿前に原稿をよく練ることである。文句なしに良い、完成度の高い論文ほど早く審査が済み、早く日の目を見ることは当たり前である。



過去の機関誌「往還ノート」へ掲載された所長室コーナーからの「発表するということ」(1)～(6)は、広島学習センター・福山サテライトスペースホームページ機関誌紹介に「往還ノート」のバックナンバーを掲載しておりますので、そこから閲覧することができます。(「発表するということ」(1)～(6)は2018年7月号(230号)、10月号(231号)、2019年1月号(232号)、4月号(233号)、7月号(234号)、10月号(235号)に掲載しています。)

●○単位認定試験について○●

□学生生活の葉(大学院 P66~/教養学部 P71~)参照

《2019年度第2学期単位認定試験日程、試験期間中の開所時間・閉所日》

1/21(火)	1/22(水)	1/23(木)	1/24(金)	1/25(土)	1/26(日)	1/27(月)	1/28(火)	1/29(水)	1/30(木)
大学院	大学院	学部	閉所	学部	学部	閉所	学部	学部	学部

【開所時間】 広島学習センター 9:00~19:00(視聴学習・図書室 9:00~18:45)

福山サテライトスペース 9:00~18:45

《持参物》

●**単位認定試験通知(受験票)**…**1月14日(火)**になっても到着しない場合は、大学本部(総合受付 ☎043-276-5111)へ連絡してください。

●**学生証**(事前に有効期限を確認してください。)

●**H Bの鉛筆**(シャープペンシルは不可)・**消しゴム**

●**持ち込み許可物品**…持ち込み許可物品は試験の約1ヶ月前にセンター内掲示版へ掲示し、システム WAKABA「キャンパスライフ→学習案内」へも掲載します。受験票送付時にも併せて通知します。

※筆記具や持ち込み許可物品は、**事務室での貸出しは行いません。**

《出題形式》

試験は、択一式(マークシート)、記述式、両者併用式があります。試験の約1か月前にセンター内掲示版へ掲示し、システム WAKABA「キャンパスライフ→学習案内」へも掲載します。受験票送付時にも併せて通知します。

《試験時間・会場》

●50分間です。

●**試験開始10分前までに入室してください。**

●**試験開始20分以降は入室できません。**

●**試験会場は受験票に記載しています。**

《成績》

試験結果は(教養学部は面接授業の成績とともに)、**2月下旬**に「成績通知書」によって通知します。

システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」でも確認することができます。

《再試験》

今学期(2019年度第2学期)、新規に科目登録した科目については、**次学期(2020年度第1学期)に引き続き学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)**科目登録・授業料納入を行わなくても、次学期に再試験を受験できます。2016年度以降に新規開設したオンライン授業科目は、単位認定試験を行いませんので再試験はありません(小学校外国語教育教授基礎論('17)を除く)。

《単位認定試験問題・解答等の公表》

今学期の試験問題は**2月上旬**、解答等は**2月下旬**に公表予定です。

試験問題及び解答等は、過去1年分を、インターネット(システム WAKABA「学内リンク」より遷移)、広島学習センター(視聴学習・図書室)及び福山サテライトスペース(図書コーナー)で閲覧できます。郵送サービスも放送大学本部にて行っていますので、利用されたい方は学生生活の葉(教養学部:P77~/大学院:P72~)にて申込み方法等確認してください。

《試験の疑義について》

受験した科目に関する疑義が生じた場合は、以下のとおり申し出てください。電話により申し出ることはできません。

・受験中：試験監督員

・試験期間中：受験した学習センター

・試験期間終了後：システム WAKABA「授業サポート→質問箱」または学生生活の葉巻末の「単位認定試験に係る疑義申請票」を放送大学本部まで郵送

疑義の受付期限は、当該学期の解答等公表日から起算し14日目までです。

●○次学期の履修手続きについて○● ☞学生生活の葉(大学院 P55～、P88/教養学部 P60～、P95～)参照

① 次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

☞	申請期間	申請方法
郵送	2月13日(木)～ 2月28日(金)本部必着	1月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。
インターネット	2月13日(木) 9:00～ 2月29日(土)24:00	システム WAKABA の「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。

② 今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

☞	出願期限	出願方法
郵送	【第1回募集】 2月29日(土)本部必着 【第2回募集】 3月17日(火)本部必着	1月中旬に送付されます継続入学用募集要項(※)もしくは一般の募集要項に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください(選科・科目履修生から全科履修生に継続入学する場合は一般の募集要項にて手続きをしてください)。 <small>※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。</small>
インターネット	【第1回募集】 2月29日(土)24:00 【第2回募集】 3月17日(火)17:00	システム WAKABA の「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください(教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は下記◎部分を参照してください)。

③ 今学期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

④ しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期間、科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

！注意！

2020年度第1学期の単位認定試験は学部と大学院を同一日で開催します。両方に学籍のある方は、科目選択の際に試験日が重複していないか注意してください。

◎継続入学生が学期当初から面接授業の登録申請をする場合

教養学部(全科履修生・選科履修生・科目履修生)への継続入学生で、学期当初から面接授業の登録申請を希望される方は、**科目登録申請期間中(2月13日(木)～2月29日(土))にシステム WAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。**

- 科目登録申請期間外に継続入学申請を行った場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願票を郵送された場合、面接授業の科目登録申請はできません。
- 出願時には、1科目以上放送授業又はオンライン授業を登録する必要があります。面接授業の登録申請のみでは出願できません。

●○次学期の学生証の交付について○●

□学生生活の葉(大学院 P24~/教養学部 P18~/)参照

3月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は、**4月2日(木)から交付**できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。

顔写真を新しくされたい方は、更新の1か月前に学生生活の葉巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システム WAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システム WAKABA は有効期限日の2か月前より変更可能です。



視聴学習・図書室からのお知らせ

◆◇視聴学習・図書室の学期末臨時閉室について◇◆

次学期準備のため、広島学習センター視聴学習・図書室を**3月24日(火)～31日(火)**の期間、閉室します。閉室期間中の本部図書の貸出は事務室にて行います。

福山サテライトスペース図書室は上記期間も通常どおり開室しています。

◆◇庄原教室での放送教材の視聴について◇◆

庄原教室(庄原市民会館：庄原市西本町二丁目 17-15)においても、放送教材の視聴ができます。現在、庄原教室に教材が配架されていない科目を履修されている場合は、複製もできますので、複製希望科目を**2月29日(土)**までに広島学習センター(☎082-247-4030)へ連絡してください。2月29日以降も複製の受け付けはいたします(ただし、複製作業に1カ月程度要するため、庄原教室への配架が4月以降となることをご了承ください)。

庄原教室へ現在配架されている科目については、広島学習センターへお問い合わせください。

◆◇広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について◇◆

2018年度(10月～3月)に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバーを、単位認定試験期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でお持ちください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

◆配布期間：1月21日(火)～1月31日(金)

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室(3階)

◇配架雑誌◇

英語教育／栄養と料理／科学／教育学研究／公衆衛生情報／こころの科学／思想／情報処理／数理科学／都市問題／ニュートン／一橋ビジネスレビュー／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／ユリイカ／臨床心理学／Interface／National Geographic

研修旅行に行ってきました

10月12日(土)に『発酵』を学び、里海の瀬戸内海がはぐくむ生物たちの展示を観る。また、中世瀬戸内で活動した村上水軍の足跡を確かめる。』をテーマに研修旅行へ行ってきました。

行程

広島SC・福山SS出発 > 福山大学水族館 > 食事 > 万田発酵 HAKKO パーク > 因島水軍城 > 帰路

参加者から多くの感想が寄せられました

全科履修生 森分 道洋

普段、何気無く口にしているヨーグルト、納豆、みそ汁、お酒等々の多くの食品は、酵母や細菌等の微生物がエネルギーを得るために有機化合物を分解してアルコール類・有機酸類・二酸化炭素等を生成していく過程である発酵の賜物であることは薄々知っていましたが、今回、植物発酵商品として生産販売している万田発酵(株)の見学を通じて、改めて特定生物の生命維持の神秘さを確認するとともに、「発酵は生命維持のために呼吸、光合成と並んで重要な過程である。」という会社説明にも納得しました。

福山大学マリンバイオセンター水族館では、里海である「瀬戸内海」に生息している多くの小生物の展示を観たほか、福山大学と地元企業(廻鮮寿司しまなみ、カネギ水産)が、地域のブランド化を目指して共同で取り組んでいる流通量が少なく高級魚として扱われているテッポウギスを安定的に養殖し、地域に貢献しようとしている「しまなみテッポウギスプロジェクト」の一面にも触れることができました。

最後の見学地「因島水軍城」では、中世瀬戸内海の海域を牛耳った村上水軍の書籍等では味わえない、現地へ赴くことで、その時代の歴史的背景を感じることができました。中世の瀬戸内海は、交通の難所が多く重なっており、往来する遣明船を含め、多くの廻船が、瀬戸内海西部ルートから関西方面(京・堺)へ短時間・短距離で航海するには厳しい環境でした。それは、逆に大小の関(関立 = 海賊)にとっては、活躍しやすい環境でもあったのだと思われます。

特に、三大海賊(能島村上、来島村上、因島村上)の中で、蒲刈一体を支配していた海賊(因島村上)は、規模が大きく、中国地方の諸大名と権益の関係からも深い繋がりがあり、一方で統一政権と共存していたと言われています。



美術鑑賞会に行ってきました



11月9日(土)に福山サテライトスペース主催の美術鑑賞会を行いました。今回は、ふくやま美術館にて「水野勝成福山入封400年記念 国宝 久能山東照宮—徳川家康と歴代将軍ゆかりの名宝」を、学芸員の方のご案内のもと鑑賞しました。

美術作品を見る楽しみの一つとして、作品を単に「美しいもの」として鑑賞するだけでなく、作品を通して伝わってくる作家の息遣いやその社会的背景を受け止めることができました。

広島学習センター文化祭を開催しました

11月2日(土)に広島学習センターにて文化祭を開催しました。

独立行政法人酒類総合研究所 理事長 後藤 奈美先生講演会「日本ワインについて」

日本ワインとは何か？ワインに使われるブドウの特徴や日本ワインの歴史、そして未来について、日本ワインの魅力を講演いただきました。



客員教員 柴 静子先生展示 足利銘仙の研究

足利銘仙の美しい着物や布をたくさん展示いただきました。
足利銘仙のイミテーション布を作る体験もあり、来場された皆さん、色選びや色を塗ったときの布の感触を楽しまれています。

学生団体・同窓会・学生個人出展 の作品展示

蛸窓短歌会

俳句クラブ

I (アイ)クラブ

学生個人出展

広島同窓会

放送大学広島同窓会主催
**広島学習センター山田所長を
 囲んでの座談会**

(在学生・同窓会会員・卒業生対象)

広島学習センター所長を交えて、学生・卒業生
 同士で「お話」しましょう。

入学してよかったこと、学習の悩みや疑問、ほかの
 学生はどんなふうに学習してるの？等々、交流の輪
 を広げ、拡大ライブをもっと楽しみましょう。

- 日 時：2月9日(日) 14:00～16:00
- 場 所：広島学習センター会議室(4階)予定
- 申込先：広島学習センター事務局へ電話、又は
 0321366664@campus.ouj.ac.jp(同窓会)へメール
- 申込締切：2月2日(日)

**2019 年度
 卒業研究成果発表会**

2019 年度に卒業研究を履修した学生が、研
 究の成果を発表します。卒業研究の履修を考え
 ている方や卒業研究に興味のある方は是非参加
 してください。

- 日 時：2月16日(日) 14:00～17:00
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務局

スケジュール(1月～4月)

1月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	※4	※5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	※24	25	26
27	28	29	30	31		

21日(火)～22日(水) 単位認定試験(大学院)
 23日(木)～30日(木) 単位認定試験(学部)

2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

9日(日) 同窓会主催所長を囲んでの座談会(広島)
 13日(木)～28日(金) 科目登録申請(郵送)
 13日(木)～29日(土) 科目登録申請(Web)
 16日(日) 卒業研究成果発表会(広島)
 29日(土)～3月1日(日) 教員免許更新講習修了認定試験

3月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

17日(火) 2020年度第1学期学生募集出願締切
 21日(土) 学位記授与式(NHKホール)
 24日(火)～31日(火) 視聴学習・図書室閉室期間(広島)
 29日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)

4月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

18日(土) 面接授業空席発表
 24日(金)～ 面接授業追加登録開始

閉所日(月曜日、祝日、年末年始、所長が必要と認めた日) (※)臨時閉所日

広島学習センター

〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
 TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

福山サテライトスペース

〒720-0812 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)
 TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

MAIL / 学習センターHP

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>

卒業おめでとうございます



広島学習センター

2019年9月29日(日)に、
2019年度第1学期
学位記授与式を行いました。

【2019年度第1学期卒業生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	9	2
心理と教育コース	17	5
社会と産業コース	6	3
人間と文化コース	8	2
情報コース	2	1
自然と環境コース	2	—
合計	44	13



福山サテライトスペース

教職員一同、皆様のご健勝とご多幸、益々のご活躍を祈念しております。

目次

卒業おめでとうございます..... 1	名誉学生表彰..... 5
学位記授与式客員教員祝辞..... 2	卒業生からのメッセージ..... 5
卒業生代表挨拶..... 3	

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 吉中 信人

卒業生の皆さん、このたびはご卒業おめでとうございます。ただいまご紹介に預かりました、客員教授の吉中と申します。ここにおられる皆さんの一人お一人が、今、これまでの道のりを振り返って、充実感と達成感を噛みしめておられることと存じます。放送大学広島学習センター教員の一人として、皆さまのたゆまぬご努力とご成果に対し、心よりお祝いを申し上げます。



私は、法学を専門としておりますので、今日は皆さんに、「学問の自由」という言葉を贈らせていただきます。「学問の自由」には、いろいろな意味があり、特に国家からの不当な干渉を寄せ付けないということに重要な意義がありますが、もっと普通に、どんな境遇にあっても、何歳になっても、どんな学問内容についても、自分自身が勉強したいものを勉強することを「学問の自由」と呼んでも良いのではないのでしょうか。正に、鳥が大空を羽ばたくように、自由に学問を追求して良いのだ、ということです。もちろん、現実には、経済的な事情、時間的な問題など、様々な制約や障害があって、皆さんも、今日この日にたどり着かれるまでに、様々な努力を重ねられながら、それらを乗り越えてこられたのだと存じます。そして、ご家族をはじめ、共に学ぶ仲間や友人、指導教員の先生方、事務局のサポートなど、多くの人々の励ましや支えがあったことでしょう。しかし、何といても大切なことは、自分自身が、心の中に、学ぶことに対して自由に真摯な気持ちを持ち続けて努力することであり、それなくして学問は成り立たず、それこそが「学問の自由」の本質なのではないのでしょうか。

皆さんは、今日ここで一つの区切りを迎えられますが、「学問の自由」が終わるわけではありません。学ぶことは無限であり、そしてこれまでに皆さん自身の中に蓄えられたものは、決して誰にも奪い去ることができない、本当の財産であり宝物です。金銀財宝、家屋や車、そういった目に見えるものが本当の財産でしょうか。12 国語を操る数学者にして大道芸人のピーター・フランクル博士の母親は、誰からも決して奪われない本当の財産を我が子に与えようとされたという話を聞いたことがあります。当時の東欧では、戦争によって簡単に家財やお金を収奪されることがあったためだそうです。たとえルパン三世でも彼の頭脳を奪えず、また、世界一の大金持ちも、どんな権力者でさえも、彼の頭の中身を、購入することはできないのです。自分自身で自分の内側に作り上げたものが本当の財産と呼べるものです。

そして、よく知られていますように、イギリスのケンブリッジ大学やアメリカの多くの大学では、卒業式のことを、「コメンズメント(commencement)」と呼んでいますが、これは、フランス語の「コマンセ(commencer)」、すなわち、「始める」という言葉に由来し、正に、新しい「始まり」を意味しています。これまでに学んでこられた内容や成果はもちろん、思考方法や論文作成等の方法論は、皆さんの、次の新しいコメンズメント、始まりへの大きな一里塚となることでしょう。私たち教員も、これからも「学問の自由」を共に追求する者として、いっそうの研鑽を重ねながら、皆さんの新しい始まりを応援し、そして皆さんに続く人たちへの支援を続けてまいります。

最後となりますが、皆さま方一人お一人の今後のご健勝とご発展を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきますと存じます。本日は本当におめでとうございます。

卒業生代表挨拶

広島学習センター卒業生代表 青井 秀樹(自然と環境コース)



私たち卒業生のためにこのような盛大な学位授与式行っていただきありがとうございます。また山田所長、ならびに客員教授の先生から暖かいお言葉をいただき身に余る光栄と感謝申し上げます。

私は 1990 年度入学で、放送大学歴 30 年になります。現在 76 歳です。46 歳の時放送大学に入学しました。その当時私は原子力発電所を作る会社で「もんじゅ」や「ふげん」のような新型原子炉の安全設計を担当するエンジニアでした。この時「津波」という言葉を聞いた記憶はほとんどありません。今と違い津波設計はそれほどまで特殊な分野でした。仕事ばかり忙しい日々が続いていましたが毎日の業務に囲まれ疲れ果てなにか新しいことをしたいという気持ちになりました。その時放送大学を見つけました。

自分のやっている理系ではないことをやってみたいと考え、文系の人間の探求(今の人間と文化コース)を選ぶことにしました。平日に試験を受けることが難しいので試験日が土曜日と日曜日の科目を選びました。

このようにして放送大学の生活を始めました。その後仕事が変わってもこのペースでやって来ました。その結果修得した単位は約 600 単位、修得コースは 6 専攻、修士課程も第 1 期生として修了しました。時間をかけてコツコツやるとなるとかなる事を理解しました。その中で勉強をすることの楽しさをしみじみと感じました。

放送大学の更に楽しいことは各地域での面接授業を受けることです。印象に残っているのは島根学習センター主催の隠岐の島での学習でした。隠岐の島グループの西の島は夕張市と同じように財政が破綻していましたが新しい町長のもとで岩牡蠣の冷凍出荷で立ち直り、廃校寸前の島前(どうぜん)高校は復活して国内から島への留学生が増えている事を実地で経験することが出来ました。このように日本各地の文化、現状、風俗習慣など放送大学を通して知ることが出来ます。面接授業を受けることで国内旅行をする人も増えています。放送大学の新しい使い方でしょう。

学位授与式を英語で commencement と言いますがこの言葉は同時に開始という意味を持っています。卒業は終わりではありません。さあまた始めましょう。

最後になりましたが、今日まで暖かくサポートしてくださった広島学習センターの職員の方々、本当に有難うございました。これから皆様のご健勝と放送大学の益々のご発展をご祈念致しまして、お礼の言葉とさせていただきます。本日はまことに有難うございました。



卒業生代表挨拶

福山サテライトスペース卒業生代表 田中 三紀子(心理と教育コース)

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を行っていただき、誠にありがとうございます。

私は3年次編入で入学しました。放送大学に入学したきっかけは、単純に心理学を勉強してみたいから、ということでした。単位の取り方や試験の受け方など、何も考えずに困ったら福山サテライトスペースの職員の方々にお世話になろう、そんな軽い気持ちで勉強を始めました。

入学してから認定心理士という資格があることを知り、認定心理士を目指してそれにはどの科目が必要なのかを考えながら科目を選びました。ただ残念なことがあり、卒業要件の124単位を取ってしまうと、自動的に卒業させられてしまうという現実をついこの間知ることとなり、認定心理士に必要な科目を1つ取り損なってしまいました。このたび、再び選科履修生として入学します。入学される方にはぜひ、学生生活の葉を熟読することをお勧めします。

さて、私の勉強方法ですが、当初はここ福山サテライトスペースでのDVDやCDの貸し出しを利用していました。借りたものは通勤時に聞きながら、帰ったら印刷教材を読む。その繰り返しです。家では休みの日に集中して見たり聞いたりして、単位認定試験前には特別にノートにまとめることはせず、ひたすら印刷教材を読み込んでいました。また、聞いていて大事だと思うところは印刷教材に直接書き込んでいました。

現在はDVDやCDの貸し出しは無くなりましたが、当時は何度も借りに来て、職員の方と話をすることが私の楽しみでした。その節は大変お世話になり、当時の職員の方々には感謝しても足りないくらいです。有り難うございました。もちろん、今いらっしゃる方々にはまだまだお世話になります。よろしくお願いします。

普段はどんな方が勉強しているのかわかりませんでした。面接授業に行けば様々な職種の方と知り合いになることができ、そこでもまた勉強になるなあと感じました。

私もまだ勉強を続けますが、生涯学習という言葉が似合う放送大学。出会えたことに感謝します。

本日は本当にありがとうございました。



名誉学生表彰

福山サテライトスペース所属の片岡 静子さんは、2019 年度第 1 学期をもって、放送大学教養学部すべての専攻・コースを卒業し、見事グランドスラムを達成されました。



片岡さんには、広島学習センター・福山サテライトスペースにおいて 4 人目となる放送大学名誉学生の称号が授与されました。



卒業生からのメッセージ

2019 年度第 1 学期卒業生の皆様より、卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆さまへ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 林 寿賀子

思い返すと長い道のりでした。子育て中、仕事復帰をしたと同時に何かに突き動かされて放送大学に入学して 8 年も経っていました。

途中、忙しさのあまり、このまま学んでいいのかわかることもありませんでしたが、毎年少しずつ進むことにしました。そして、卒業の日を迎えると、達成感よりも物足りなさを感じ、放送大学での学びは、私の日常生活の一部になっていたことに気づかされました。また新たな専攻で学べる日を楽しみにしています。ありがとうございました。

●心理と教育コース卒業 倉重 吉久

私は 30 歳を過ぎたころ大学で心理学を学びたいと考えていましたが仕事との両立は難しいと諦めていました。47 歳で放送大学を知り 3 年次でスタート 4 年で卒業を目指していましたが、勉強が楽しく学ぶ欲求が増し予定より 1 年早く卒業することになりました。しかし一つ心残りは面接授業が仕事と日程が合わず一度も受けられなかったことです。選科履修生であと少し継続して学ぼうと思います。

●心理と教育コース卒業 貞廣 満里枝

在職中(看護師)に、放送大学の見学の機会があり、定年退職後、入学しました。目的はよく考えた方がいいと思います。入学後 2 年目に乳がん(左)に、7 年目に右もなり。時間がかかってしまいましたが、大学を続けたことは免疫力のアップにもつながったと思っています。大学は進化しつつあると感じます。放送授業はやりがいがあります。面接授業も講師の先生との出会い、いろんな方と知り合えて得るものがありました。

●社会と産業コース卒業 藤原 克巳

放送大学へ入学してちょうど 10 年目に 3 つ目のコース「社会と産業」を卒業することができました。私に学ぶ場所と時間を与えてくれた放送大学広島学習センターに感謝するしかありません。これからも「継続は力」「知は力」をモットーに再入学(自然と環境コース)して卒業を目指して頑張りたいと思います。生涯一学生です。在校生の皆さんこれからもよろしくお願いします。



●社会と産業コース卒業 三輪 泰司

改めて単位修得状況を確認すると、のんびりとした修得になりました。入学時から卒業研究に合格しての卒業という目標はありましたが行動が伴わない状態でした。卒業研究は興味あることを選択すると思いますので、その過程は面白いです。参考文献を探しては題からそれた本に興味を持って読み。アンケート調査に不安を感じていても、多くの人の支援を感じることもありました。もし、思案中の人がいれば卒業研究はお勧めします。

●社会と産業コース卒業 森津 英二郎

放送大学を無事卒業できましたこと、感無量です。大学及び関係者の皆様にお礼申し上げます。これからも引き続き科目を選んで学習に努めたいと思っています。

●人間と文化コース卒業 鈴木 啓子

定年を迎えて、若い頃叶わなかった大学での勉強をしたいと思い、退職金を学費に当てることにして、若い人に交じって大学の試験を受けたが合格できなかった。偶然知った放送大学を選び、70才迄に卒業することを目標とした。他のコースでも興味を持った講義も面白く学ぶことができ、放送大学にして良かったと思った。もうひとつ目標としていた卒論が書けなかったので、次は是非、卒論に挑戦したいと思っている。

●人間と文化コース卒業 友景 清治

定年退職後の人生を考えた時、何か好きなこと、楽しいこと、やり残したことをしようと思い、放送大学で学び直すのも選択肢の一つと考え、興味のあるコースで学んで、この度、6年で卒業することができました。その間、小旅行を兼ねた他地区での面接授業にも参加するもの楽しみの一つでした。談話室で知り合いになれた方々との雑談も楽しみの一つです。今後は継続入学し、他コースで、ゆっくり楽しみながら学んでいこうと思います。

●人間と文化コース卒業 藤原 郁子

放送大学に入ったのは40代最後の年でした。大学を卒業したいと思ったからです。勉強は久しぶりだったので、最初は少なめの教科数から始めました。目標は4年で卒業する事。その目標を今回、無事達成する事が出来ました。大学に入って楽しかったのは、なんと言っても面接授業。色んな地方で授業を受け、そこで知り合った人と食事に行く事も有りました。楽しく学べた事は、とても良い思い出です。有難うございました。

●人間と文化コース卒業 的打 徳子

久しぶりに勉強してみようかと始めた放送大学でした。興味の趣くままに、対象と向き合う瞬間は、何物にも代え難いものでした。このような時間に出会うべくお導きくださいました先生方、事務の方々に御礼申し上げます。また、家族にも感謝しています。ありがとうございました。

●情報コース卒業 風藤 美和子

卒業3回目です。まさか平成の大半を放送大学学生として過ごすことになるうとは、科目履修生で入学したときは思いもしませんでした。令和元年、卒業証書を戴けて感慨深いものがあります。テレビや新聞の情報を見聞きする中で勉強したことをふっと思い出す時があり、「この事だったのか」とわかった瞬間心の中でガッツポーズ！同志の皆さま、この気分わかっていただけますか？勉強と向き合った日々は私の密かな誇りです。

